年3回の会議を開催。

【第1回】

容

日時	平成 30 年 7 月 5 日(木) 14:00~16:45
会場	岩槻駅東口コミュニティセンター 多目的ルームB 参加者 63 機関 82 名

内【講師による講演】

今回は「障害のある人ひとりひとりの意思決定支援を考える」です。

障害の重い人の意思決定支援で大切にすべきことを伺い、障害のある人の意思が反映された生活が送れるようにするために何ができるか、関係機関の皆様と考えられるようなご講義をいただきました。

[講師]

社会福祉法人みなと舎 ゆう 施設長

日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会長 森下 浩明 氏

【グループワーク】

1グループ 5~6 名 13グループに分かれてのグループワークの実施。ワークシートをもとに各グループにて話し合い。グループワークでは講演を受けての感想や意見、共有したいこと等の話し合いを行いました。

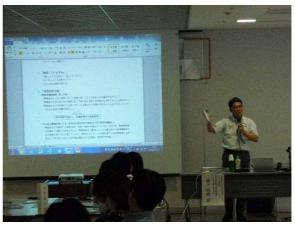
【参加者からの感想等】

家族のアセスメントも大切というところでハッとしました。

意思決定支援について仕事上取り組んでいることが自分の中で当たり前と感じていましたが、改めて考えることが大切だと思いました。

利用者から見られている意識を忘れずに。今後仕事をしていきたいと思います。





【第2回】

場

容

日	平成 30 年 10 月 31 日(水)	14:00~16:30	
時			

会 岩槻駅東口コミュニティセンター ワッツルームA

参加者 51 機関 80 名

内【講師による講演】

『"このまちで暮らす"を支える~さやか学園の実践から~ 』をテーマとし、地域移行の取り組み、地域住民や産業と深く繋がっての地域づくりについて伺いながら、身近な地域でどのように共生社会を目指していくのかをご講義いただきました。

[講師]

社会福祉法人清心会 理事長

公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会 理事長 村山 勇治氏

【グループワーク】

1 グループ 5~6 名 1 1 グループに分かれてのグループワークの実施。ワークシートをもとに各グループにて話し合い。グループワークでは講演を受けての感想や意見、共有したいこと等の話し合いを行いました。

【参加者からの感想等】

地域で生活するために様々なサポートも用意しているのがとても心強いと思いました。

今後は地域での取り組みが重要と感じました。

岩槻区には GH が少ないと感じました。

他職種の方の話を聞けて、支援の新しいヒントが得られた気がします。





【第3回】

日 平成 31 年 2 月 21 日(木) 14:00~16:30

時

容

会 岩槻駅東口コミュニティセンター 多目的ルームAB

場 参加者 43 機関 63 名

内【講師による講演】

昨年度「災害時の障害のある人の支援力アップ 基礎講座」をテーマにご講義を頂いた鍵屋先生を再度お迎えし、実際に自分達の普段の支援中に災害が発生した場合、どんなことに困り、どんな対応が可能なのかを話し合い、『支援中に災害が発生したらどうする?!』をテーマに自分達の「自助力」を高めていく内容であり、また防災について学び、日頃の防災への取り組みについて検討していく機会といたしました。

[講師]

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 代表理事 鍵屋 一 氏

【グループワーク】

1 グループ 4~5 名 1 5 グループに分かれてワールドカフェ方式でのグループワーク グループワークでは講演を受けての感想や意見、共有したいこと等の話し合いを行いました。

【参加者からの感想等】

福祉の面から見た防災の考え方について学ぶことができ、非常に有意義でした。

災害時の対応ルールが定まっておらず協議を検討しているところでしたので、良い意見をたくさんうかがえて大変有意義でした。



